

# 令和3年度 事業計画

## 〇はじめに

『人生100年時代』は既に始まっています。

我が国は今や世界トップクラス長寿国となりましたが、厚生労働省の令和元年度の統計調査では全国の100歳以上の人口が71,200人余となり、最近よく見聞きする「人生100年時代」は既に始まっていると言えます。このことは単に寿命が延びているというだけでなく、今後のライフプランの立て方や働き方に大きな影響を及ぼす可能性があります。

政府はこの人生100年時代に向けた新しい経済政策のひとつに「高齢者雇用の促進」をあげています。これは働く意欲のある高齢者が活躍できる就業環境を整備するため、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」を改正したもので、本年度4月からは70歳までの雇用確保が努力義務となりました。このことにより、今後のシルバー事業においては新規加入者への影響が懸念されますが、厚生労働省ではシルバー人材センターにおける就業機会の開拓・マッチング機能や地域の特色等を踏まえた積極的な取り組みを強化するとしています。

このような社会情勢にあって、働く意欲のある元気な高齢者に地域社会に密着した業務を確保・提供することで、人手不足における現役世代への下支えの役割を担っているシルバー人材センターに寄せる期待は益々高まっています。また、高齢者もシルバー事業を通じて生きがいのある生活を送り、社会奉仕活動によって地域社会での「居場所」と「出番」を得ることは、健康長寿のためのフレイル（\*加齢等により心と体の働きが弱くなってきた状態のこと）予防に役立てることができ、結果的に社会保障の負担軽減にも貢献しています。

## 『ウイズコロナ時代に対応したシルバー事業の推進』

本年度における新たな課題として、新型コロナウイルスとの共存があげられます。このウイルスのパンデミック（\*世界的な大流行）に見舞われた昨年度は、まさに未曾有の経済危機に見舞われ激動と激変の一年となりました。専門家によれば変異株の流行等様々な要因が絡んで、収束には長い年月がかかるとみられており、本年度は当面、感染抑止と経済再開を両立させる「ウイズコロナ（\*新型コロナウイルスとの共存・共生）」の状態が続くと思われま。

ウイズコロナ或いはアフターコロナの時代に対応したシルバー事業の推進においては、センターでは新しい生活様式の実践など環境の変化に柔軟に対応し、会員の多様なニーズに応え、地域に役立つ事業を展開していくとともに、ICT（\*情報・通信技術）等を活用した就業機会の提供への効率化等、新たな戦略による業績の向上に努め、公益法人に相応しい運営と基盤強化を進めて参ります。

## I.基本方針

- ☆会員増強と資質の向上
- ☆就業確保の推進と適正就業
- ☆安全就業の推進と感染防止対策の徹底
- ☆組織の活性化と運営体制の機能強化

## II.実施計画

### 1 会員増強と資質の向上

- ① ポイント制度を活用した「会員ひとり新会員1人募集活動」に積極的に取り組みます。
- ② 就業が困難になった会員も引き続き互助会・同好会活動や地域の社会奉仕活動に参加できるよう、ゴールド会員制度による退会抑制に取り組みます。
- ③ 新規入会希望者の参加状況に臨機応変に対応し、参加しやすい入会説明会に努めます。

また、ホームページを活用した入会説明会の案内や町村域での「夜間入会相談会」の実施を増やしていきます。また、パソコン・スマホでも簡単にできる「オンライン入会登録」についても、先進的なセンター事例を参考に研究します。

- ④ 女性会員の事業活性化と新規入会促進のため、各種講座や教室等を継続実施します。また、女性のための入会相談会の開催や介護・子育て支援等、女性に適した就業の確保・拡大に努めます。
- ⑤ 「生涯現役!」いつまでも健康で働き続けてもらうため、これまでの「健康管理講習会」を更に充実させ、心身共に丈夫な体づくりを応援します。
- ⑥ 改正会員就業規約(2021.4.1施行)を遵守して、会員の就業マナーの向上に努め、発注者や第三者への危害・損害等の防止、会員が起こす事故等の抑止につながるるとともに、事故防止に向け安全意識の高揚を図って、発注者から“シルバーは、安くて、早くて、よい仕事”と常に良い評価をいただけるよう努めます。

### 2 就業確保の推進と適正就業

- ① 会員一人ひとりが「就業開拓員」となり、ポイント制度を活用して就業機会の掘り起こしを行ないます。
- ② 受注情報を公開し、会員に就業機会を広く案内すると共に、未就業会員には聞き取り等を行って就業に向けた案内を行います。
- ③ 当センターのホームページに受注専用の入力欄をフォーマット(\*書式設定)し、一般家庭や企業等がいつでも・どこでもスムーズに発注できるように改善します。また、理事及び事務局職員の地域企業等への新規就業開拓訪問も継続実施します。

- ④ 生活弱者に向けた「ちょっとした困りごとお手伝いサービス（ワンコインサービス事業）」の具体的な事業化に向けて検討を継続します。
- ⑤ 独自事業はセンターの活性化につながると同時に、そこには多種多様な仕事を生み出す可能性があることから、既存の独自事業の創意工夫とともに新規事業の開拓にも取り組みます。
- ⑥ 「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を遵守するとともに、請負が適切でない場合は派遣就業への切り替えを適宜行います。
- ⑦ センター独自開催の各種技能講習等の充実を図ります。
- ⑧ シルバーの仕組みを崩す「会員のセンターを通さない就業」の根絶に努めます。

### 3 安全就業の推進と感染防止対策の徹底

- ① 会員の新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図るとともに、コロナ禍における新しい生活様式の定着を促進します。
- ② 危険予知訓練（KYT）を活かした講習会等を実施するとともに、職群班での安全ミーティングの徹底を図ります。
- ③ 改定安全就業基準（2021.4.1施行）を遵守して、常に安全・安心な就業に努めます。
- ④ 安全就業パトロールを充実し、現場での安全対策を喚起します。
- ⑤ 安全就業ニュースによる啓発活動を行います。
- ⑥ 草刈り就業での石跳ね飛散防止対策として、幅広飛散防止カバーや安全回転バリカンの普及推進と刈り払い機の安全操作講習会を実施します。
- ⑦ 高齢者の交通安全対策として「会員の就業時等の交通事故防止への強化対策基準（2021.1.22施行）」を遵守します。

### 4 組織の活性化と運営体制の機能強化

- ① 会員の自主的・主体的な運営の実現に向けて、理事会、部会、委員会等のより効果的で機能的な組織づくりに取り組みます。
- ② 地区班や職群班はセンター機能の要として、会員同士の意思疎通を密にした班づくりを支援します。
- ③ 事務局体制の効率化と職員に求められる知識と能力の向上に努めます。
- ④ 財政基盤強化として、自主財源及び補助金の確保に努めるとともに、PDCA（\*計画・実行・評価・改善）サイクルによる事務事業の見直し等で、効率化と経費節減を図ります。
- ⑤ コロナ禍において、政府はデジタル化（\*人によって解釈は様々ですが、パソコン・タブレットやスマートフォンの普及、交流サイトや各種アプリの普及により、何時でも何処でもリアルタイムに情報アクセス、情報共有ができるようにすること）社会への変革を急速に進行させていることから、シルバー事業においても、アフターコロナを念頭においた ICT の活用等による新たな業務運営の在り方を検討します。また併せて、センター独自で会員を対象にしたスマホ教室、パソコン講座等を開催することで、高齢者の ICT リテラシー（\*情報・通信技術の活用能力）の向上に努めます。

- ⑥ 会員への情報伝達の利便性対策として、センターから会員の携帯電話(スマートフォン・ガラケー)のSMS (\*ショート・メッセージ・サービス)へ緊急時連絡、会員へのお知らせ、就業募集等について必要に応じて随時配信します。

## 5 構成市町村及び関係機関との連携とシルバー事業の広報啓発活動

- ① 県及び関係機関、構成市町村で開催す福祉関連等のイベントへ積極的に参画・出展して高齢社会を支える役割を果たします。
- ② 各地区班は、地元地域への感謝と奉仕の場並びにシルバーの活動をPRする場として、公共施設等の草刈り及び清掃作業を継続して実施します。
- ③ 県シルバー連合会と連携した「高齢者活躍人材確保育成事業」を有効に活用して、センター事業のPRと入会募集を継続して行います。
- ④ 地域住民にシルバー事業活動は従来然とした仕事だけでなく、多種多様な就業の場があることを広く周知するため、マスコミ等(信毎・中日・南信州新聞社・ICTV・いいだFM等)を積極的に活用してイメージの転換と向上を図ります。
- ⑤ 当センターの活動を多くの方々に知ってもらうため、会員促進・就業開拓用のリーフレットを刷新して、様々な場面で積極的に活用します。また、会員に向けては「シルバーだより」を工夫して情報提供を充実させます。
- ⑥ 見やすく・わかりやすく・利用しやすいホームページづくりに心がけ、より多くの最新情報を提供します。

## 6 組織の活性化と基盤強化

- ① 令和3年度は第4期中期計画の最終年度となることから、これまで5年間の成果を検証するとともに、次期中期計画の策定に向けた委員会を立ち上げて策定作業を進めます。
- ② 構成市町村との連携強化による公共事業の拡大と補助金の確保のため、構成市町村担当課長会議及び理事者並びに市町村議員との懇談会の機会を継続して、良好な関係性を維持します。
- ③ 会員とセンターの情報共有や意思疎通を図り、安定かつ継続的なセンター運営を図るため、理事会等で地区懇談会のあり方を十分に検討し、会員のための有意義な交流と話し合いの場づくりに努めます

### シルバー人材センターの基本理念

- ◎自主・・・会員が自主的に事業に参加します。
- ◎自立・・・会員が主体となってセンターを育てます。
- ◎共働・・・会員が共に働きます。
- ◎共助・・・会員が共に助け合います。